

仕事納め式での挨拶

平成21年12月28日

皆さん、おはようございます。本日の仕事納めに際しまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本年を振り返りますといろいろなことがあったように思います。

まず、明るい面から申し上げますと、夏の甲子園で、立正大湊南高校が島根県勢として久しぶりにベスト8に進出するということがありました。今年も島根の若者たちの活躍が随所にみられたと思います。我々にとって、大変、うれしいことでもあります。

別の甲子園、観光のPRを競う高校生の甲子園大会では、隠岐の島前高校が全国一位の快挙を成し遂げました。また、伝統のあるホッケーでは、横田高校が、新潟国体で男女でアベック優勝するという快挙もありました。

また、文化面では、中学校の全日本合唱コンクールで、出雲一中と斐川西中がともに、金賞と文部科学大臣賞に輝きました。

そのほかアクアスの白イルカの赤ちゃんの誕生でありますとか、出雲の多伎町で旧石器時代の可能性がある石器が発見されたり、石見の石州半紙がユネスコの無形文化遺産に登録されたりしております。

また、長い間、念願でありました大橋川の改修の問題につきまして、鳥取県と合意となり、この改修が始まるということになりました。

この関連でもご尽力いただいた澄田前知事には、本当に長い間、県政にご貢献をいただいたわけでありまして、突然の驚きでありましたが、お亡くなりになるという悲しい出来事もありました。改めまして澄田前知事のご貢献に対しまして深く感謝の意を表しますとともにご冥福をお祈りする次第であります。

皆さんの仕事との関連で申し上げますと、大変に忙しい一年であったのではないかと思います。内外の経済情勢は非常に厳しく、それが続いているのであります。

昨年秋に起こった世界的な景気後退が、急激な勢いで世界中に伝搬し、この島根にも直ちに影響が及んできました。

こうした中で国は累次の経済対策を打ってきました。県も国の対策に呼応しまして、2月議会、6月議会、9月議会、11月議会と、矢継ぎ早と申しますか、大きな経済対策を講じてきました。総額にして850億円を超える大きな規模になっております。

皆さん方は、この過程で、どういう対策をとればいいのか、といった具体的な対策の案作り、議会の審議、そして予算が成立しますとその早期の執行にあたり、本当に一生懸命、働いてこられたわけであります。夜遅くまでこのために働くといったこともあったのではないかと思います。

また、新型インフルエンザ対策、これは予想はされていたのですが、実際にこの問題に対処するといったことは、我々にとって、皆さんにとって、初めてのことでありました。この問題につきましても、健康福祉部、あるいは教育委員会だけでなく、各部局にも大きな仕事となって対応せざるを得なかったのではないかと思います。

8月の総選挙におきまして、政権交代が起き、政策の転換がありました。また政策決定のプロセスの変更もありました。こうしたことに対して県も対応しなければなりませんでした。これも新たな動きであったわけです。

また、年末にかけましては本当に悲しく残念な事件でありましたが、県立大学にいられて、勉学中の平岡都さんがあの事件に巻き込まれてお亡くなりになりました。私どもにとって、本当に申し訳のない事件であり、大きな衝撃となる事件でありました。県警察は犯人検挙のため、全力をあげて取り組んでおります。

また、安全安心の島根を築くために、12月中旬には浜田で「県民会議」を開きまして、「犯罪に強い社会を実現するための行動計画」を策定しました。これからその実施に邁進をしていかなければなりません。

このように、皆さんには本当に忙しい一年であったと思いますが、県民の方々のために職務に精励をされ、一生懸命に頑張っていたと思います。その努力に対しまして、心から謝意を表したいと思います。

こうした厳しい中で皆さんには、本当に申し訳ないことですか、ボーナス

のカットなど給与の減額をお願いしました。これにつきましては、皆様のご理解とご協力をいただき、ここに改めまして感謝を申し上げます。

さて、本年もあと数日で終わりますが、今年、我々が取り組んできました諸課題の、実は、ほとんどが来年に持ち越されるのであります。

景気対策につきましては、年が明けますと、国の補正予算も踏まえ、県は2月議会に向けまして雇用対策、産業振興、インフラ整備、あるいは福祉の充実など、しっかりした対策をうちたてて、予算案を議会に提出する必要があります。そうした作業が年をあけて本格的に始まるわけであります。

また、遅れている高速道路の整備など社会インフラの整備、あるいは、地域医療の確保など大きな問題につきましては、引き続き国に対して地方の実情を訴え、国の対策を要請していかなければなりません。また、インフル対策は、新年におきましても同様な注意と対応が必要であります。

また、平岡都さんの事件につきましても、早期の解決が必要です。安全安心な島根を取りもどすための努力を、全力をあげて行わなければなりません。

このように我々の前にはさまざまな懸案が引き続きあるのであります。しかし、これから数日の正月休みにおきましては、ゆっくりと休まれまして、また新年からの問題解決のため、英気を大いに養っていただきたいと思っております。

そして、年が明けましたら、来年が県民の皆様にとりまして、明るく、活気のある年となりますよう、皆様とともに県庁一丸となって、取り組んでいきたいと思っております。

最後になりますが、県民の皆様、職員の皆様、それぞれよい年をお迎えになりますよう心からお祈り申し上げまして、私の挨拶といたします。